愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	谷村 祐子	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本演習はスポーツトレーナーに必要な知識や関連分野（スポーツ医学、運動生理学など）に関わる内容を実践・データ収集・まとめる・修正というサイクルを繰り返すことで、現場実習（社会）で必要となる理論と実践力を身に付けることを目的とする。　また、学生個々のニーズに合わせた現場実習を通して、スポーツ種目別及び個人のニーズ別のプログラム構築と処方を実践し、トライ＆エラーを体験しながら学習する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業は、グループワークを中心とした演習形式で実施され、受講者同士での課題に関するプレゼンテーション、フィールドワーク、ディスカッション、ピアインストラクション（根拠やプロセスを教え合うこと）を積極的に取り入れる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス、個人面談 卒業論文・就職活動スケジュール	専門演習ゼミの運営方針等を説明する。	□
第2回	Google Classroomの使い方 文献の探し方	OPAC、Google scholar、CiNiiなどを使い、文献検索する方法を学ぶ。 Wordを使い、レポート、抄録の書き方を学ぶ。	□
第3回	文章を書く時のルールと実験レポートの書き方	レポートの書き方、メール、ドライブ、Word、Excel、Power point等の基本的な使い方について情報共有する。	□
第4回	トレーナーとしてのキャリアパス（１）	現役トレーナー・卒業生から実践的な知識や経験を得る。また、得た情報を基に関連情報を自ら収集し、レポートを作成する。	□
第5回	データの扱い方と考え方	Excelを使いたデータ扱い方とデータの読み取り方を学ぶ。	□
第6回	身体組成と体力測定のデータ収集	身体組成・体力測定の計測をする。	□
第7回	身体組成と体力測定のデータのまとめ（１）	Excel、Wordを使い、身体組成のデータを処理してレポートを作成する。	□
第8回	身体組成と体力測定のデータのまとめ（２）	Excel、Wordを使い、身体組成のデータを処理してレポートを作成する。修正の指示を受けた箇所を修正する。	□
第9回	文献発表（１）	POWER POINT、レジュメを使い、論文を発表する。 クラスの学生の発表から良い発表とは何かを考える。	□
第10回	文献発表（２）	POWER POINT、レジュメを使い、論文を発表する。 クラスの学生の発表から良い発表とは何かを考える。	□
第11回	身体活動量のデータ収集	身体活動量の計測をする。	□
第12回	身体活動量のデータのまとめ（１）	Excel、Wordを使い、身体活動量のデータを処理してレポートを作成する。	□
第13回	身体活動量のデータのまとめ（２）	Excel、Wordを使い、身体活動量のデータを処理してレポートを作成する。修正の指示を受けた箇所を修正する。	□
第14回	卒業論文のテーマの立て方（１）	卒業研究を想定して、テーマの立て方を学ぶ。	□
第15回	卒業論文のテーマの立て方（２）	卒業研究のテーマを立てる。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

【共通】 事前：トレーニング用語や医学用語などの専門分野の単語が多いため、テキスト、参考図書、webを利用し、必要な関連知識を学習する（2時間程度）。 事後：毎回、課題が出るので、その課題に取り組む（2時間程度）。 【現場実習希望者】 事前：現場実習に向けて実

習先の確保や調整を行い、スムーズに現場実習が行えるように準備する（2時間程度）。 事後：現場実習をする上で問題点等が発生した場合は、直ちに改善できるようにゼミ内で情報共有するように努める（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題レポートは添削・採点をしてから返却する。 全体として共通のポイントに関しては全体で共有し、個別のポイントに関しては学生個々に個別指導をする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018人間健康DP2	1. スポーツトレーナーに必要な知識や関連分野（スポーツ医学、運動生理学など）に関わる内容を理解し、問題意識を持つことができる。 2. 現場実習（社会）で出会う問題に対して、解決方法を模索する努力ができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	20%	80%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

実験内容をまとめたレポート課題
プレゼンテーション課題（先行研究の紹介、現場実習の報告などを含む）

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて紹介する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	酒井聡樹、これから論文を書く若者のために（究極の大改訂版）、 共立出版	978-4320005952
2	Gregory Haffら（編集）・篠田邦彦（監）、ストレングストレーニング＆コンディショニング（第4版、NSCA決定版）、ブックハウスHD	978-4909011077
3		
4		
5		